

平成30年2月16日

関係機関等の長 殿

佐賀大学農学部長
有 馬 進
(公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記の要領にて教員の公募を行うことになりました。つきましては、貴機関の関係者にお知らせいただくとともに、適任者の御推薦について、よろしくお取り計らいいただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 募集者 佐賀大学 (佐賀市本庄町1)
2. 職 名 教授
3. 募集人員 1名
4. 就業場所 佐賀大学本庄キャンパス (佐賀市本庄町1)
農学部附属アグリ創生教育研究センター (佐賀市久保泉町下和泉 1841)
5. 専門分野 施設園芸学
6. 担当業務 教育に関する内容
学 部：施設園芸学，植物工場学，資源循環生産学概説，
フィールド科学基礎実習 I~IV，資源循環フィールド科学実習，
フィールド科学総合実習，遺伝資源フィールド科学実習，
資源循環フィールド科学演習 I・II，卒業研究 等
大学院：農学総合講義，
資源循環生産学特別演習 I・II，特別研究 等
教養教育科目等
その他，専門分野に関する研究及び大学の管理運営業務にも携わっていただきます。
7. 待 遇 任 期：任期無しの常勤職員 (試用期間3か月)
賃 金：年俸制 (国立大学法人佐賀大学年俸制教員給与規程による)
ただし，応募する時点で佐賀大学に常時勤務する教育職員 (附属学校教員

を除く)のうち国立大学法人佐賀大学職員給与規程の適用を受けている方については、引き続き同規程の適用を希望することも可能です。

勤務形態：週5日，38時間45分勤務

(月～金)8時30分～17時15分(12時～13時は休憩時間)

*専門業務型裁量労働制により，7時間45分働いたものとみなされます。

休日：土日，祝日，年末年始(12月29日～1月3日)

健康保険：文部科学省共済組合，労災保険，雇用保険加入

備考：その他詳細は，国立大学法人佐賀大学職員就業規則等による

8. 応募資格：次の各号を全て満たす者

- (1) 担当専門分野における博士の学位を有する者
- (2) 担当専門分野において優れた業績があり，学部生及び大学院生の教育・研究指導に熱意と十分な能力がある者
- (3) 植物工場・施設栽培システムに精通し，野菜を中心とした作物の施設栽培に関する実践的な教育研究を展開できる者。施設栽培システムおよび作物の生理学，育種学的研究分野における実績があり，自治体・国内外の研究機関・企業等との共同研究・共同事業に参画した経験を有する者

9. 着任時期 平成30年5月1日以降，採用決定後のできるだけ早い時期

10. 応募に必要な書類

- (1) 履歴書(高等学校卒業以後の履歴を記入したもの。別紙記入例参照)
- (2) 出身大学が発行する学位取得証明書(原本)1部
- (3) 応募者について意見を伺うことができる方2名の氏名及び連絡先，あるいは推薦書1通(冒頭に作成日及び推薦者の所属・職名を記入し，署名したもの。1,200字以内)
- (4) 研究業績目録(学術著書・訳書，研究論文，その他。別紙記入例参照)
- (5) 研究業績説明書(個々の業績を関連付けて全体を総括したもの。3,600字以内)
- (6) 研究業績目録に記載された学術著書・訳書及び研究論文のうち，主要なもの12編程度の本刷，別刷又はコピー
- (7) 専門分野における教育・研究活動，学会活動，社会活動，国際活動及び科学研究費などの公的研究資金導入の状況(冒頭に作成日及び氏名を記入したもの。)
- (8) ティーチング・ポートフォリオまたはこれまでの教育業績(冒頭に作成日及び氏名を記入したもの。任意様式)ただし，応募する時点で佐賀大学に常時勤務する教育職員(附属学校教員を除く。)については，標準版のティーチング・ポートフォリオ(本文及び根拠資料)の提出を必須とします。
- (9) 着任後の教育・研究に対する抱負(冒頭に作成日及び氏名を記入したもの。1,200字程度)

注) 応募書類は，A4判，横書きとして下さい。

11. 選考方法 書類選考の上，面談(教育・研究に関するプレゼンテーション，質疑等)や専門分野に関する模擬講義

(面談などの場合の旅費等は支給いたしません。)

12. 応募締切 平成 30 年 3 月 16 日（金）17 時必着
（※応募者が少ない場合は、応募期限を延長する場合があります。）

13. 提出先及び問合せ先

〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地

佐賀大学農学部 附属アグリ創生教育研究センター長 穴井 豊昭宛

TEL : 0952-28-8725 FAX : 0952-28-8709

E-mail : anai@cc.saga-u.ac.jp

※封筒表面に「施設園芸学分野教員応募書類在中」と朱書きし、書留にて郵送してください。電子メールによる応募は受け付けません。また、応募書類は原則として返却しません。

14. 本公募掲載先 本学 HP : <http://www.saga-u.ac.jp/other/boshu.html>

JREC-IN

上記提出書類の各種様式については、本学 HP より取得してください。

15. その他

- ・本学は、鹿児島大学大学院連合農学研究科の構成大学となっており、本学教員は連合農学研究科委員会の審査を経て、博士課程の担当教員になることができます。
- ・本学では、男女共同参画社会基本法、佐賀大学ダイバーシティ推進宣言（平成 29 年）の精神及びポジティブ・アクションに基づき、教員の選考を行っております。
- ・提出いただきました個人情報、本学個人情報の保護に関する規程に準じて適正に管理し、本選考以外の目的には使用いたしません。

(記入例)

研究業績目録

2018年2月16日

佐賀太郎

学位論文

L-乳酸発酵をモデルとした回分培養の速度論的解析に関する研究
博士（農学）（九州大学農博乙第1448号）

業績は古い順に
記載。通し番号
をふる。

単著、共著に関わらず
申請者氏名には必ず
アンダーライン

雑誌名はフルタイトル
とし、省略不可

Corresponding Author
には右肩に*をつける。

論文 I

論文 I-1

佐賀太郎, 佐賀次郎, 佐賀三郎*, 1998年
畜産動物の育種と.....
日本農業動物学会誌 4: 159-167

論文と論文の間には1行のスペースをあける。ラインなどは引かない。

論文 I-2

T. Saga, J. Saga, S. Saga, 2007年
High-frequency generation of viable mice from engineered bi-maternal embryos.
Nature Biotechnology, 25: 1045-1050

論文 II

論文 II-1

佐賀太郎, 佐賀次郎, 佐賀三郎, 2003年
日本ウズラ長期選抜系統.....
佐賀大学農学部彙報 88: 73-78

著書

著書-1

佐賀太郎 (分担執筆) . 1997年
育種理論 p.30-34、乳牛の改良 p.349-354

1冊の中に複数の執筆箇所がある時にも1冊として整理する。

佐賀次郎 編

畜産総合事典、佐賀書店

特許は発明者と公開年、
出願番号、公開番号、特
許番号を記載する。

その他

その他-1

佐賀次郎, 佐賀太郎, 1992 年

出願番号：特願平 3-217948 公開番号：特開平 5-30980 特許番号：第 2816777 号

共重合体およびその製造方法

Proceedings はその他に
含める。

その他-2

T. Saga, J. Saga, S. Saga, 1998 年

Quantitative trait loci (QTL) analysis in a Meishan x Goettingen cross population

Proceedings of the 6th World Congress on Genetics Applied to Livestock Production

26: 320-323

その他-3

佐賀太郎, 2007 年

核内受容体クラス I 遺伝子とその応答配列について

動物遺伝育種研究 35: 173-179

研究業績の書式について

- (1) 1. 学位論文, 2. 論文Ⅰ, 3. 論文Ⅱ, 4. 著書, 5. その他 の順に記載すること。
- (2) 「論文Ⅰ」と「論文Ⅱ」の区別は鹿児島大学大学院連合農学研究科の教員資格審査判定基準（申合せ及び社会科学系の論文の取り扱いについてを含む。）に従う。

平成30年2月現在の論文Ⅰの要件

- 1 PubMed に登録されている学会誌
 - 2 Thomson ISI list に登録されているインパクトファクター付き学術雑誌
 - 3 日本学術会議協力学術研究団体又は第19期日本学術会議登録学術研究団体が発行する学術雑誌
 - 4 その他（連合農学研究科代議委員会で承認された学会誌）
「環境毒性学会誌(出版学会：日本環境毒性学会)」
「北日本漁業（出版学会：北日本漁業経済学会)」
 - 5 社会科学系で掲載論文を論文Ⅰにカウントする対象雑誌
『日本の農業』（農政調査委員会）
『東畑四郎記念研究奨励事業報告』（農政調査委員会）
『農業総合研究』（農業総合研究所）
『農林水産政策研究』（農林水産政策研究センター）
『アジア経済』（アジア経済研究所）
『農耕の技術と文化』（農耕文化研究振興会）
『協同組合奨励研究報告』（全国農業協同組合中央会）
- (3) 「論文Ⅰ」、「論文Ⅱ」は学術雑誌に掲載された原著論文とし、それ以外の総説、技術報告、技術解説、報告書、特許、データベース、Proceedings などは「その他」とする。
なお、講演要旨（Abstract）は研究業績には含めない。
- (4) 作成にあたっての注意
- 1 英語題名は、原則として始めの1字のみを大文字とし、他は小文字とする。
 - 2 発行所、学会誌等の名称は略さない。

(記入例)

履 歴 書

氏 名	佐賀 太郎(さが たろう)
生 年 月 日	XXXX 年 XX 月 XX 日(XX 歳)
現 住 所	佐賀市本庄町1番地

履 歴

年 月	事 項
XXXX 年 XX 月	〇〇立〇〇高等学校卒業
XXXX 年 XX 月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
XXXX 年 XX 月	同上卒業(〇〇学士又は学士(〇〇))
XXXX 年 XX 月	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程〇〇専攻入学
XXXX 年 XX 月	同上修了(〇〇修士又は修士(〇〇))
XXXX 年 XX 月	〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇専攻進学
XXXX 年 XX 月	同上単位取得退学
XXXX 年 XX 月	日本学術振興会特別研究員(XXXX年XX月まで)
XXXX 年 XX 月	〇〇博士又は博士(〇〇)(〇〇大学)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学助手又は助教(〇〇学部)
XXXX 年 XX 月	文部省在外研究員(米国, ウィスコンシン大学)(XXXX年XX月まで)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学講師(〇〇学部)
XXXX 年 XX 月	海外研修(ベルギー, ゲント大学)(XXXX年XX月まで)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学助教授又は准教授(〇〇学部)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学助教授又は准教授(連合農学研究科)併任
XXXX 年 XX 月	〇〇大学教授(〇〇学部)
	現在に至る
	(賞罰)
XXXX 年 XX 月	〇〇賞受賞

注. 3ヶ月以上の海外留学, 内地留学, 海外出張及び海外研修は記入すること。